

事業シート(令和8年度予算)

04_総合政策課.xlsx_1

事業名	20900 総合計画推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	2	総務費			ポイント			
					項	1	総務管理費		分野別	政策分野	着実な計画の推進		
					目	9	企画費		施策分野	計画推進			
担当課	総合政策部総合政策課			内線	2434							市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ いつまでも住み続けることができる環境を整備します 等

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none">・総合計画に基づく計画的な行政運営を着実に推進する。・近隣自治体と連携して共通する課題に取り組む。・年齢、性別、障がいの有無などに関わらず誰もが安心して暮らせる環境を整える。・地方創生を推進する。	概要	<ul style="list-style-type: none">・市民アンケート、事業評価、実施計画ローリング等により総合計画の進捗管理を行う。・政策コーディネーターの設置やたかやま共創ミーティングの開催により、市政全般における政策立案、形成をすすめる。・若者や女性活躍に向けた活動支援や事業調整を行う。・高山市SDGs未来都市計画に基づきSDGの推進を図る。・県及び飛騨3市1村が連携して飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業を実施する。・ユニバーサルデザインに配慮された施設の認定や啓発資料の活用等により、誰にもやさしいまちづくりを推進する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じている市民の割合	54.7%		↗
誰にもやさしいまちづくり条例に基づく認定件数(累計)	86件		100件
事業評価の実施	385事業		-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)				R6				R7			
				最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)		最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	
				27,857	24,562	15,927					
特定財源	国費 ()										
	県費 (SDGs推進事業費 1/2)			1,600	962	1,600					
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)			2,000	2,000						
一般財源				24,257	21,600	14,327					
新規・拡充	主な事業内容										
	総合計画の進捗管理(第九次総合計画の策定)			3,887	2,841	494					
	SDGsの推進			3,200	1,997	3,200					
	政策コーディネーターの設置			3,600	3,600	3,600					
	地域力創造アドバイザーの設置			6,100	5,809						
	たかやま共創ミーティングの開催			200	126						
	飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会への参画			7,900	7,541	7,900					
○	自治基本条例等制定に向けた検討										

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none">・総合計画審議会の開催(諮問・答申含む)(3回)、第九次総合計画(基本計画・実施計画)の策定、市民・団体アンケートの実施、市民意見交換会の開催(対面5回、動画視聴800回)、事業評価の実施・飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業に38,080人が参加・来場・誰にもやさしいまちづくり推進会議の開催(1回)、市内小学6年生を対象に誰にもやさしいまちづくり学習資料を作成・配付・総合教育会議の開催(1回)、児童生徒等の重大事態調査委員会の開催(1回)・飛騨高山SDGsアクションデイズの開催、SDGsパートナー登録事業者の情報発信・マッチング支援の実施・政策コーディネーターの設置・たかやま共創ミーティングの開催(5テーマ)・若者活動支援事業への助成、11団体を支援・地域力創造アドバイザーの活用
評価等	<ul style="list-style-type: none">・第九次総合計画について、市議会特別委員会との段階的な協議を行うとともに、場所や時間を選ばず意見を出せるよう動画やオンラインの活用による市民説明会、総合計画審議会の諮問・答申を経て、策定した。・たかやま共創ミーティングや政策コーディネーターの設置、地域力創造アドバイザーの活用など、政策形成に向けた手法を活用することにより、市民提案の政策への反映、幅広い知見を有する方からの助言等による取組みへの反映などにつなげることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none">・第九次総合計画に掲げる施策、実施計画の進捗を図る。・引き続き、一般財団法人ひだ財団など、行政以外のセクターとの連携強化を図る。 <div><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善<input type="checkbox"/> 拡大<input type="checkbox"/> 縮小<input type="checkbox"/> 廃止検討<input type="checkbox"/> R6完了<input type="checkbox"/> R7完了予定</div>

4.令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算				R7			
要求額(d)	財務部査定額	実施計画額	市長査定額	増減 (d)-(c)			
14,977				△ 950			
200				△ 1,400			
14,777				450			
要求額	説明						
494							
2,150							
3,600							
7,900							
100							

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算				R7			
要求額(d)	財務部査定額	実施計画額	市長査定額	増減 (d)-(c)			
14,977				△ 950			
200				△ 1,400			
14,777				450			
要求額	説明						
494							
2,150							
3,600							
7,900							
100							

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善<input type="checkbox"/> 拡大<input type="checkbox"/> 縮小<input type="checkbox"/> 廃止検討<input type="checkbox"/> R7完了<input type="checkbox"/> R8完了予定</div>

担当課 予算要求 ポイント	・自治基本条例(まちづくり基本条例)等の制定に向けた検討に関する経費を計上
---------------------	---------------------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定の 考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	20930 大学連携推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	2	総務費			ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり		
					項	1	総務管理費			政策分野	2	こども・教育・交流		
					目	9	企画費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		
担当課	総合政策部 総合政策課		内線	2434										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・大学との連携の強化を図り、若者(市外学生)のUターンや地元定着を促進する。 ・大学の持つ高度かつ専門的な知見を活用し、当市における政策形成能力を向上させる。 ・大学連携による地域産業の活性化やブランド力の強化を図る。	概要	・大学連携センターの設置・運営に対する助成 ・大学連携センターへの調査研究業務の委託 ・連携大学等との検討会議の開催 ・連携大学等が活用できるサテライトキャンパスの設置・運営
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		19,190	18,172	19,770		
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		19,190	18,172	19,770		
新規・拡充	主な事業内容					
	大学連携の推進(大学連携センターに対する助成)	15,100	14,207	15,700		
	大学と連携した調査、サテライトキャンパスの設置	4,020	3,931	4,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	19,800
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
19,770			0
19,770			0
要求額	説明		
15,700			
4,000			

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・大学活動を誘致する大学ミッション事業により49大学、大学教授や学生を5,384人受け入れ、リモートによる講義・報告会に137人が参加 ・市内における大学活動を促進するため、大学等によるゼミ合宿に対する支援を行った(63件3,397人泊分を助成) ・持続可能な観光まちづくりに向けた取組みなど、大学の高度で専門的な知見を活用した自治体シンクタンク事業を推進 ・飛騨地域をフィールドに調査研究を行う大学関係者や地元高校生が集い、研究成果等を発表する「第6回～繋がるキャンパス～飛騨高山学会」を開催 来場者約440人、ライブ映像視聴者延べ約550人 ・民間事業者と大学等が連携し新製品や新サービス等の研究開発に要する費用を助成
評価等	・大学連携センターによる大学活動への支援により学生を、高山へ呼び込むとともに、大学関係者と市民とを繋ぐことができた。 ・大学と連携した調査研究により、地域の魅力向上や課題解決に向けた取組みを進めることができた。 ・飛騨高山学会の開催により、研究成果等が広く共有されるとともに、大学の教員や学生、地元高校生、企業など参加者相互の交流・連携が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、大学活動の誘致や大学と連携した調査研究、市の施策形成への活用を進める。 ・飛騨高山大学連携センターと連携しながら、市内における大学活動の積極的な誘致を図る。

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</div> <div><input type="checkbox"/> 拡大</div> <div><input type="checkbox"/> 縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 廃止検討</div> <div><input type="checkbox"/> R6完了</div> <div><input type="checkbox"/> R7完了予定</div>

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	
市長査定の 考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	20960 若者等活動事務所管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	過疎地域持続的発展計画	
					款	2	総務費			ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり			
					項	1	総務管理費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 若者の自主的、主体的な取り組みを支援します	
					目	9	企画費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術			
担当課	総合政策部	総合政策課	内線	2434											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・次代を担う若者たちが地域でいきいきと暮らし、活動することを通じ、飛騨高山への誇りと愛着を育む。 ・伝統的建造物群保存地区及び周辺の景観に配慮された美しい町並みを維持する。	概要	・村半(若者等活動事務所)の管理運営を行う。
----	---	----	------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		5,196	4,217	8,550			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(夢・まちづくり基金繰入金、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	4,000	4,000	4,000			
一般財源		1,196	217	4,550			
新規・拡充	主な事業内容						
	施設の管理運営	5,196	4,217	5,250			
	若者の主体的な活動に対する助成			2,200			
	高校生の主体的な活動に対する助成			1,100			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・来所者数 27,198人(1日平均88人)、開所からの延べ109,046人 ・利活用検討会の開催(4回)
評価等	・市内高校生や中学生の自主学習での利用のほか、若者が自発的に活動している各種プロジェクトの打合せなど様々な目的で利用されている。 ・県内外からの視察や教育旅行の受け入れなど、市のPRの場所としても活用が図られている。 ・地域の方々には施設の利用をはじめ、施設内の植栽等への助言や、地域の季節行事に参加させていただくなど、良好な関係を築くことができている。
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定</div> <div>・更なる利用促進を図りながら、引き続き適切な管理運営を行う。</div>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定</div>

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	8,600
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
5,590			△ 2,960
			△ 4,000
5,590			1,040
要求額	説明		
5,590	エアコン設置の増		
	21010市民活動支援事業費へ移行		
	21010市民活動支援事業費へ移行		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・エアコン設置費用を計上
---------------------	--------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	20980 高山駅西地区まちづくり推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	都市基本計画、教育振興基本計画、地域福祉計画	
					款	2	総務費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり			
					項	1	総務管理費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 文化・スポーツ・芸術などやりがいの実現を支援します	
					目	9	企画費			施策分野	(1)	土地利用・都市計画			
担当課	総合政策部 総合政策課		内線	2443											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・「ふれあい×にぎわい×つながり ～市民の夢や願いをかなえ、笑顔と心ははずませる駅西エリア～」をコンセプトとして高山駅西地区のまちづくりをすすめ、市全体の活力につなげる。	概要	・高山駅西地区における複合・多機能施設等の整備をすすめる。
----	---	----	-------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		25,020	23,959	12,500		
特定財源	国費 (高山駅西地区まちづくり推進事業費 1/3、1/2)					
	県費 ()					
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	12,000	12,000	6,000		
一般財源		13,020	11,959	6,500		
新規・拡充	主な事業内容					
	高山駅西地区複合・多機能施設整備に係る事業者選定	24,820	23,694	8,200		
	高山駅西地区複合・多機能施設の整備			4,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	634,300
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
636,860			624,360
187,000			187,000
			△ 6,000
449,860			443,360
要求額	説明		
2,160	施設整備等事業者選定支援業務委託等		
634,000	設計・施工支援業務委託		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・高山駅西地区複合・多機能施設運営者選定委員会の設置、開催(2回) ・高山駅西地区複合・多機能施設の運営予定者の公募、選定(応募 2団体) ・地質調査の実施(2箇所)
評価等	・高山駅西地区複合・多機能施設整備基本計画で定めた事業手法(運営者先行選定方式)に基づき、運営予定者とする団体を選定した。 ・地質調査の実施により、建設予定地として十分な地盤を有することを確認した。
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定</div> <div>・今回選定した運営予定者の助言を踏まえて、設計施工(DB)を行う事業者の選定を進める。</div>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定</div>

担当課 予算要求 ポイント	・高山駅西地区複合・多機能施設の整備に係る設計費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	25100 統計調査事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画			
						款	2	総務費			ポイント					
						項	5	統計調査費			分野別	政策分野		着実な計画の推進	市長公約	
						目	1	統計調査費				施策分野		計画推進		
担当課	総合政策部 総合政策課			内線	2434											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・統計的視点から市の現状を理解する。 ・統計調査結果を研究活動等様々な分野で活用する。 ・政策立案の基礎となる統計調査業務の円滑化を図る。 ・各分野における諸事象を把握し、実態を明らかにすることにより、各種行政施策に必要な基礎資料を得る。	概要	・統計調査に従事する調査員を確保するとともに、調査員の資質向上のための研修を実施する。 ・各種統計における高山市に関する数値を取りまとめ、「高山市のあらまし」として公表する。 ・国・県が実施主体となる各種統計調査を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		9,924	8,578	350		
特定財源	国費 ()					
	県費 (統計調査員確保対策事業費 等)	9,811	8,501	237		
	その他 ()					
一般財源		113	77	113		
新規・拡充	主な事業内容					
	事務費	140	104	140		
	経済センサス(毎年)	10	0	180		
	国勢調査(R7調査実施(5年に1度))	80	25			
	農林業センサス(R6調査実施(5年に1度))	8,657	7,477	30		
	全国家計構造調査(R6調査実施(5年に1度))	1,037	972			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・統計調査員研修会の開催(20名) ・「高山市のあらまし」の印刷・発行(80部)、市ホームページでの公表 ・経済センサス、農林業センサス及び全国家計構造調査の実施、国勢調査(R7)の準備
評価等	・各種啓発により統計調査員を確保することができた。 ・受託した国(県)の各種統計を実施した。
次年度以降の考え方 (担当課)	・統計調査業務を円滑に実施するため、引き続き統計調査員を対象とした研修を実施する。 ・「高山市のあらまし」を引き続き発行するなかで、さらに見やすくわかりやすくするよう工夫する。 <div><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定</div>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定</div>

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	7,000
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
5,970			5,620
5,857			5,620
113			0
要求額	説明		
140			
5,830	活動調査(5年に1度)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・経済センサス(活動調査)に要する経費を計上
---------------------	------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定の 考え方	